

正倉院学術シンポジウム 2017

正倉院の色

日時：平成 29 年 11 月 3 日（金・祝） 13:00～17:30

会場：東大寺総合文化センター 金鐘ホール

参加定員：250 名（参加料無料、事前申込制、定員に達し次第締切）

主催：奈良国立博物館 後援：読売新聞社

【スケジュール】

13:00～13:05 開会挨拶 松本 伸之（奈良国立博物館長）

13:05～15:55 研究報告

13:05～13:45 「紅の赤裳とは何か？」  
上野 誠 氏（奈良大学教授）

13:45～14:25 「正倉院宝物の色」  
中村 力也 氏（宮内庁正倉院事務所保存課調査室長）

14:25～14:35 休憩

14:35～15:15 「正倉院宝物からみた奈良時代の玉の色」  
大賀 克彦 氏  
（奈良女子大学古代学学術研究センター特任講師）

15:15～15:55 「正倉院宝物と天平絵画の彩色技法」  
谷口 耕生（奈良国立博物館学芸部教育室長）

15:55～16:05 休憩

16:05～17:25 パネルディスカッション  
司会進行：戸田 聡（読売新聞大阪本社記者）  
パネリスト：上野 誠氏・中村 力也氏  
大賀 克彦氏・谷口 耕生

17:25～17:30 閉会挨拶 石垣 鉄也（奈良国立博物館副館長）

## 【趣旨】

本年10月28日(土)～11月13日(月)、秋恒例の『正倉院展』が奈良国立博物館で開催されます。当館では同展会期中に「正倉院学術シンポジウム」を開催し、一般来聴者にもご参加いただいております。例年好評をいただき、本年もシンポジウムを実施するはこびとなりました。

今回のテーマは「正倉院の色」。奈良時代の彩りを今に伝える正倉院宝物の色の秘密に迫ってみたいと思います。特に近年、最新の分析機器を用いた色料調査の発達によって、正倉院宝物に施された絵具や染料の同定が可能となるなど、多くの画期的な成果が次々と報告されています。本シンポジウムはこれらの成果に基づきながら、第一部では4名の研究者による研究発表、第二部はパネルディスカッションを行い、正倉院宝物の彩色の魅力を再認識しようとするものです。

本シンポジウムが、千数百年の歳月を経て伝来した正倉院宝物のすばらしさを内外に発信する場となり、わが国の文化財保護活動に対する理解を、広く共有していただけるきっかけとなれば幸いです。

## 【応募方法】 往復はがき または ホームページ専用申込みフォーム

### ◆往復はがき

- ◇ 往信用はがきに、[正倉院学術シンポジウム聴講希望]と明記の上、  
[氏名・ふりがな・住所・郵便番号・電話番号・性別・年齢]を記入してください。
- ◇ 返信用はがきには宛名・住所を記入してください。

### ◆ホームページ専用申込みフォーム

- ◇ 奈良国立博物館ホームページ(<http://www.narahaku.go.jp/>)「講座・催し物」→「催し物」内の「正倉院学術シンポジウム2017」申込み画面より必要事項を入力の上、お申し込みください。

## 【受付期間】 10月2日(月)～10月30日(月)必着

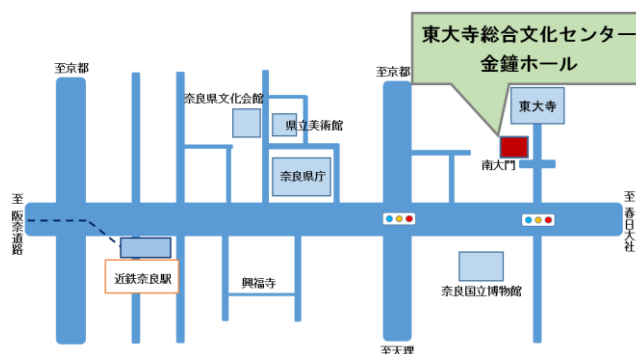
※応募はいずれかの方法で1人につき1回でお願いいたします。

※定員になり次第締め切ります。

※当日入場の際には、第69回正倉院展の観覧券が必要です。(半券・国立博物館パスポート可)

## 【会場アクセス】

- JR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「東大寺大仏殿春日大社前」下車徒歩5分
- または近鉄奈良駅から徒歩約20分



## 【応募・お問い合わせ先】

〒630-8213 奈良市登大路町50 奈良国立博物館 学芸部教育室  
TEL: 050-5542-8600 (ハローダイヤル)